

ひと ひと  
女と男の情報誌

# 笑がお



## CONTENTS

- ☆ イキイキ笑顔人 河野 一晃さん P2・3  
「お客様に喜んでいただくことで、恩返しを」
- ☆ 男女共同参画市民企画事業開催報告 P3
- ☆ 笑がおコラム「町の元気な笑顔」 P4
- ☆ パソコン講座受講者募集
- ☆ 災害時の避難所生活に必要なこと
- ☆ 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）
- ☆ 「笑がお」を一緒に作りませんか？



みんなが笑顔でいられるために・・・

みんなが笑顔になる街づくり・地域づくりを

一緒に考えていきませんか？

# イキイキ笑顔人

自分らしく  
輝いている人  
見つけた!



ファイル NO.25 この かずあき  
**河野 一晃 さん (38 歳)**

春日部市生まれ、草加市で育つ。二人兄弟の長男。30 歳で結婚後、吉川市在住。店名の「レガーム」は、イタリア語で絆・縁の意味。座右の銘は「店長一生一年生（おごらず高ぶらず初心を忘れない）」

## お客様の喜ぶ顔が見たい！ 育ててくれた人に、吉川に、 恩返しをしたい！

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな…。  
「美味しい料理と、お客様に心地よいサービスを提供する店であり続けたい」と、微笑む河野一晃さん。  
念願の飲食店経営を吉川でスタートさせて繁盛店にした河野さんに、イキイキ「笑顔」のわけを語ってもらいました。

### 無限大の可能性を追求する楽しさ

フードカフェ「レガーム」を開店させて 5 年目です。ワインを片手に美味しい小皿料理を気軽に楽しめる価格で…そんな店にしています。料理、サービス、店の雰囲気を通して、お客様に如何に満足していただくか、可能性は無限大にあります。それを追求するのは難しいことではありますが、答えが決まっていなからこそ創造的に何でもやれる。それが個人店ならではの強みと楽しさであり、経営の魅力だと感じています。

開店当初はフロアでの接客を私とアルバイトで担当し、あとは料理長だけで客席は 22 席でした。その後少しずつお客様がついてきた頃に震災があり、売上が極端に落ち込んで不安を抱えた時期もありましたが半年目を境に回復。1 年ほど前に席数をほぼ倍にして吉川駅南口前に移転し、社員も 5 人になりました。店の規模を大きくする決断には悩みましたが、私のやりたいことを支える右腕、左腕になる社員の成長がとてもありがたいですね。

### 吉川での出会いで成長できた

高校を卒業後、証券会社に入社しましたが、より評価制度が確立している会社で働こうと、マクドナルドに転職しました。自分の力を目に見える物差しで評価されながら成長したいと思ったからです。20 歳で吉川店に入社し、その後 25 歳で店長となり、計 9 年間働きました。吉川店の Y オーナーからは多くのことを学びました。人間的なスケールが大きい方で、育ててもらいました。恩人ですね。

「飲食店の仕事は無理をすれば何とか言われるけれども、会社とか人間は長く頑張れない、その場しのぎのやり方はタブーだ」と教えられました。店長になって参加した吉川市商工会の活動でも、大きな刺激がありました。さまざまな地元の経営者の方に出会うことができ、そのつながりは今も続いています。振り返れば、あんな若僧の自分によく付き合ってくれたと…感謝ですね。

人材育成の面でも、マクドナルド店長の経験は貴重な勉強になりました。店を任された

ものの、生意気な私のやり方に部下から反発され「ついていけない」と言われて苦労しました。その時、自分が変わらなければ相手は変わらないことを実感したのです。自分から挨拶すれば、動けば、周りは応えてくれるけれども、お山の大将ではそっぽを向かれるだけだと気づかされました。

### 喜んでもらうことで元気に

大きな組織の画一的なサービスではなく、目の前のお客様にもっと喜んでもらいたいという気持ちを募らせ、自分が経営する店を持つことを目標に、マックを退社。その後、都内のいくつもの会社や店での現場で働き経験を積みました。収入は少なくなり武者修行になりましたが、結婚した妻は「あなたが輝いているなら、やりたいことを存分に」と後押ししてくれました。

開店の場所を吉川市に選んだのは、Y オーナーに私の頑張る姿を見続けてもらいたいことと、育ててもらった地域・吉川に恩返しをしたいという気持ちが強いんですね。一つの店や会社ではできることが限られますが、商工会の仲間と一緒にできれば地域への貢献度が高い活動ができます。

昨年、2回目の開催となった“吉川 JAZZ NIGHT”もそうです。多くの市民の方が楽しめるイベントの成功は、主催側の意気も上がって、みんなが元気になれると確信しました。

「レガメ」のスタッフには、お客様の顔、名前、好みを、まずしっかり覚えようという目標があります。来店、二回目なら「この間はありがとうございました」、三回目なら「前回、〇〇をお飲みになりましたよね」、四回目なら「〇〇さん、こんにちは」と言えるように。目標とそこへのプロセスを明確にすれば、人は成長できると信じています。



15,000人を集めた昨夏“JAZZ NIGHT”の打ち上げ。「商工会青年部メンバーとの交流も楽しんでいます」

レガメ 吉川 検索 ☎048-999-6996

## 男女共同参画市民企画事業を開催しました

男女共同参画の理解推進を図るため、募集した平成26年度市民企画事業が、男女共同参画審議会の審査を経て決まり、2団体による事業を開催しました。

- NPO法人よしかわ子育てネットワーク  
女性のリーダー養成講座  
～ありのママで生きよう！！～



「アイスブレイク講座」  
平成27年1月22日(木)  
30名参加  
アイスブレイクとは、緊張をほぐし、その場にふさわしい雰囲気をつくるために行うもの。学校の役員決め、サークルや会議などで、活発なコミュニケーションのきっかけに。

「子どもの心のコーチング」  
平成27年1月28日(水)  
42名参加  
親も子どもと一緒に成長。子育てを通して、自信が付き、様々な活動に積極的に参画へ。



- 吉川市国際友好協会  
フランスやマラウイ共和国の  
男女共同参画



平成27年2月15日(日)  
国際交流イベントに47名参加  
日本に長く在住しているフランス出身の女性と青年海外協力隊としてマラウイ共和国（アフリカ大陸南東部）に派遣されていた日本人女性を招き、男女の役割や習慣の違いを通して、日本の現状を考える機会となりました。



フランスの残業時間は3か月で平均10時間!!

各国の料理で異文化交流も



## 町の元気な笑顔

「ピンポン」とチャイムをならし、お隣に引っ越してきた若夫婦があいさつにいらした。お腹には赤ちゃんがいるようだ。高齢化していた地域が若返る瞬間だった。

時は流れ、現在、お隣からは、時折、元気な赤ちゃんの泣き声が聞こえてくる。なんだかとてもうれしくなる。お母さんは育児に大変だろうなと思いつつ赤ちゃんの泣き声が地域に活力をもたらしているようにも感じる。

吉川市はこのところ人口増化傾向にある。特に若年層の転入は高齢化率を下げているようだ。「吉川美南」の駅前には多くの新しい住宅が立ち並び、前の空き地だったころの景色すら思い出せないぐらいだ。

この町に多くの笑顔があふれるように、私たちは何ができるのか考えたい。自分たちの住む町が、誰にとっても住みやすい町になることが、これからの高齢社会を楽しく生きることにつながるに違いない。

九州のある町の取り組みが先日テレビで取り上げられていた。認知症になっても一人暮らしができる町だった。地域住民が認知症への理解を深め、認知症の人たちに寄り添っている。思わず「住みたいな～こんな町」と声のでてしまった。

R・M

就労により  
自立を目指す  
女性のための



3月27日(金)まで  
受講者募集!!  
保育あります(有料)

NPO ネットよしかわ・市共催  
実践パソコン講座  
開催します

内容：Word・Excel 初級講座  
対象：市内在住・在勤の女性、パソコンを持参できる方  
定員：先着 20 名  
日時：説明会 平成 27 年 4 月 7 日(火) 午前 10 時  
講座 平成 27 年 4 月 14 日(火)～  
平成 27 年 9 月 15 日(火) 全 18 回  
毎週火曜日 午前 9 時 30 分～11 時 30 分  
場所：市民交流センターおあしすミーティングルーム 4  
費用：27,000 円  
(生活保護、ひとり親家庭、住民税非課税等半額減免)  
申込・問合せ：所定の申込書にご記入の上、持参もしくは、FAX、Eメールで吉川市役所市民参加推進課まで(申込書は、市民参加推進課、市ホームページ、おあしす、各サービスセンター、中央公民館で入手できます)  
☎048(982)9685 FAX048(981)5392  
✉shiminsanka2@city.yoshikawa.saitama.jp

・・・災害時の避難所生活に必要なこと・・・

災害などの緊急時には、男女のニーズの違いを把握し、幅広い意見を取り入れるようにしましょう。



- ①女性と子どもの意見を聞いて一緒に環境改善
- ②関係者全員に、いかなる犯罪行為・人権侵害も許さないこと、気づいたら報告するよう喚起(女性と子どもだけではなく)
- ③被害を受けた場合の相談窓口情報を提供する(掲示するなど)

多様な生き方が選択・実現できる社会をめざして  
仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)



一人ひとりの意識づくりや工夫、企業や社会全体で互いの働き方を認め合い、協力し合える職場づくりなどに取り組むことで、バランスのとれた自分らしい豊かな人生が送れるように目指していきましょう。



「笑がお」を一緒に作りませんか？

この男女共同参画情報誌「笑がお」の企画・取材・原稿作成・編集など発行にご協力いただける方を新たに募集します。みんなが笑顔になる街づくりに興味がある、企画や取材などの経験を活かしたいなど、関心をお持ちの方は、右記**問合せ**までご連絡ください。

「笑顔」の写真も  
募集しています



**発行**

笑がおの会(川崎容子・間宮玲子・丸山篤恵)・吉川市  
※「笑がおの会」は、吉川市男女共同参画推進市民会議OBの活動から生まれました。

**問合せ**

吉川市 市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当  
〒342-8501 埼玉県吉川市吉川2-1-1  
☎048(982)9685 FAX048(981)5392  
✉shiminsanka2@city.yoshikawa.saitama.jp

※題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。